

## 会 議 録

会 議 名	嵐山町介護保険運営協議会					
開 催 日 時	令和8年1月13日（火）			開会	午後1時30分	
				閉会	午後2時30分	
開 催 場 所	嵐山町役場1階 町民ホール					
会 議 次 第	1. 開 会 2. 任命書・委嘱状の交付 3. あいさつ 4. 自己紹介 5. 正副会長の選任について 6. 諮 問 第10期嵐山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について 7. 議事録署名人の選任について 8. 議 事 (1)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について (2)第10期嵐山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について (3)今後のスケジュールについて (4)その他 9. 閉 会					
公開・非公開の別	公 開		傍聴者数		0 人	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	田畑 茂夫	出	委 員	堤 祐輝	出
	副会長	三井 幸子	欠	委 員	市川 達男	出
	委 員	木村 信子	出	委 員	小池 真弓	出
	委 員	番場 邦男	出	委 員	山田 昇	出
	委 員	荒井久美子	欠	委 員	小屋野賀津美	出
	出席者8人			欠席者2人		

事務局	町長 佐久間 孝光	
	長寿生きがい課長 簾藤 久史	長寿生きがい担当 吉川 壮司
	包括支援担当 久保 かおり	長寿生きがい担当 藤野 美佐
委託業者	株式会社環境総合研究所 藤生 雅喜	

## 配布資料

### (1) 事前配布

- ・資料1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票
- ・資料2 在宅介護実態調査票
- ・資料3 業務実施スケジュール（案）

### (2) 当日配布

- ・資料4 嵐山町介護保険運営協議会委員名簿
- ・資料5 嵐山町介護保険条例（平成12年条例第11号）抜粋
- ・資料6 「電子申請届出システム」の利用開始について

次 第	顛 末
1 開 会	簾藤課長
2. 任命書・委嘱状の交付	任期は令和7年12月1日から令和10年11月30日までの3年間。出席委員のうち名簿先頭の木村委員へ代表交付。他委員には机上交付。
3. あいさつ	佐久間町長 本計画は、今までアンケート調査と計画を1年で行って来たが、高齢化に伴い、介護保険制度の変化などから審議の時間を確保するため、7年度に調査、8年度に介護保険料の算定及び計画を作成することとした。 地域密着型サービスの看護小規模多機能型居宅介護施設整備の公募を実施し事業者が決定しており、8年度に施設の建設、同年度末に開設の予定となっている。第10期計画には、この新たな施設の利用も加味してご審議いただく。
4. 自己紹介	事務局：三井委員、荒井委員から欠席連絡があった 各自、自己紹介、事務局、委託業者紹介
5. 正副会長の選任について	委員の互選 事務局案の提示（会長：田畑茂夫委員、副会長：三井幸子委員※本日、三井委員は欠席だが、本人の了承を得ている） 異議なし 田畑会長：挨拶

6. 諮 問	<p>町長より本協議会会長に対して、第10期嵐山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について諮問がなされた。</p> <p>諮問後、町長退席。</p>
7. 議事録署名人の選任	<p>署名人は、正副会長を除き名簿順に選任されるため、今回は木村委員、番場委員が選任された。</p>
8. 議 事	<p>(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について</p> <p>事務局：説明 資料1、2</p> <p>会 長：気づいた点ありますか。</p> <p>事務局：国の設問については変更がなく、町の追加箇所や委員さんから他のご意見があれば、検討したいと思います。</p> <p>委 員：追加項目について問題ないと思います。調査の抽出件数ニーズ調査800名、在宅介護200名については、国の指針などがありますか。</p> <p>事務局：今回の調査人数については9期も同じ人数で実施しており、国の基準としてニーズ調査は800名であれば問題なく、在宅介護調査の200人については、認定を受けている町民は1,000名となっており、そのうち在宅の方を対象とするので、該当者としては妥当な数字かと思えます。</p> <p>会 長：前回調査の回収率はどのくらいですか。</p> <p>事務局：それぞれの調査で6割強かと思えます。</p> <p>会 長：今回追加されたACPとは、国の方で進めているものですか。</p> <p>事務局：国の設問ではありませんが、国全体で推進しているものです。また、比企地区9市町村で構成している協議会でも、私の意思表示ノートを使用し普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>(2) 第10期嵐山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について</p> <p>事務局：調査と計画を1年から、審議時間を多くとるため、アンケートを今年度、計画策定を8年度に実施します。協議会は今回1回と令和8年度に3回を予定しています。</p> <p>会 長：今後、計画については説明があるのでしょうか。</p> <p>事務局：国の指針が出て、それらを踏まえて次回以降、計画策定の説明を行います。</p> <p>会 長：国の指針もあるが、嵐山町の実情に合わせた計画を作っていただきたい。</p> <p>事務局：来年には地域密着型の看護小規模多機能型居宅介護施設ができ、その利用は、事業者の経営的な状況、町民の利用意向踏まえて、適切な利用者数と近隣市町村との利用者管理をする必要があります。</p> <p>会 長：これまで町になかった利用しやすい施設ができるので、町のニーズに合わせて使っていき、協議会の審議も必要になるのでよろしく願います。</p>

**(3) 今後のスケジュールについて**

事務局：資料3説明

会 長：パブリックコメントはどのように行いますか。

事務局：計画書の案を役場ホームページに掲載したり、役場窓口や他公共施設に配置するなどして閲覧に供し、意見公募を行います。意見については、計画書に盛り込むかどうかなどを、協議会に諮っていきたいと思います。

会 長：パブリックコメントは町民の意見なので、なるべく取り込んでいただきたいと思います。委員への計画書の配布は、どのように予定していますか。

事務局：前は、町長挨拶のない最終案段階のものを協議会で話し合い、挨拶の入った計画書ができた旨の報告を各委員さんへ行うのと同時に、計画書をホームページに掲載した。冊子が必要な委員は町に連絡いただければ配布しました。同様に想定しています。

**(4) その他**

事務局：嵐山町は10月1日から、介護事業所等の指定申請等に係る「電子申請届出システム」の利用を開始しました。

次回協議会は6月に開催予定。今回承認いただいたアンケートの準備を進め、調査を実施し報告を行います。

介護サービス事業所等に対し物価高騰対策支援事業を実施予定。手続き簡略化しメールで行う。金額も前回より上げる予定です。

会 長：協力ありがとうございました。議事を終わります。

5 閉 会

簾藤課長

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和 8年 1月 29日 \_\_\_\_\_ 木村 信子

令和 8年 1月 29日 \_\_\_\_\_ 番場 邦男